



2012-13

週報



パワー浜松ロータリークラブ事務局
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2
オークラアクティホテル浜松4307号室
Tel/Fax 053-452-0800

Email info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立/2002年10月22日 RI承認/2002年11月27日
認証伝達式/2003年4月29日
スポンサークラブ/浜松中RC



奉仕を通じて
平和を

田中作次
2012-13年度
国際ロータリー会長

RIテーマ「奉仕を通じて平和を」会長/田中作次(八潮RC)
2620地区のテーマ「クラブは自ら活性し、お互いのつながりを実感しながらロータリーを伸展させよう」
ガバナー/高野孫左エ門(甲府RC)
パワー浜松RCのテーマ「固く結ぼう心の絆、分かち合おう総ての仲間と」会長/小澤邦比呂

第457回例会10月2日(火)AM 19:20~21:00 オークラアクティホテル浜松3Fチェルシーの間
■司会:森俊彦 堀内善弘 ■点鐘:小澤邦比呂 ■ロータリーソング; それでこそロータリー
■ゲスト; 第2580地区東京城東ロータリークラブ 渡辺孝至様 ・村田誠様 ・安間英人様
・拡大委員 曾根原今朝敏様 ・米山記念奨学生 賀新剛さん

出席報

86名中63名
73.26%
前々回修正出席率80%

会長挨拶

本日は創立記念例会です。浜松中クラブより拡大委員の曾根原今朝敏様、また東京城東クラブより船橋屋会長の渡辺孝至様にお越しいただきました。ありがとうございます。今一度初心にかえる良い機会だと思います。8月のロータリーの友よりRI会長のメッセージをご紹介します。

『ロータリアンの皆さん、ロータリーって何ですか。私がロータリアンにこの質問をすると、いつも曖昧な答えが返ってきます。実は私自身も、この問いについて考え込んでしまっています。8月はロータリーの会員増強および拡大月間です。ロータリーとは何か、なぜロータリーに入会したのか、皆が統一したメッセージを発信できるようになることを願っています。

会員を増やす鍵は、一人ひとりのロータリアンが、ロータリアンになって良かったと納得し、他の人たちに情熱を伝えることです。ロータリアンは謙虚で、自らが達成したことをひけらかしたりはしません。しかし、私たちは、自らの信念と熱意を、身近な人々、そして世界の人々に伝えていかなければなりません。ロータリアンなら誰も、自分にとって特別な意味のある経験があるかと思えます。これを、「ロータリー・モメント(心に残るロータリー体験)」と呼ぶ人もいます。このような経験を分かち合うことは非常に大切なことだと私は信じています。事実や数字だけでは、それ以上のことは相手に伝わりません。しかし、個人的体験は、相手の心に訴え、友情を築く力があります。(中略)

一人ひとりがロータリアンであることに充実感を覚え、明確で統一されたメッセージを発信することができれば、すなわち、世界中のすべてのロータリアンがおのおの広報の担当者になることができたとしたら、それらの一つひとつが結びつき、蓄積して、計り知れないほどの効果が表れるでしょう。(中略) 人生の目的は、互いに助け合い、社会に貢献することだと私は信じています。ロータリーがいったんこれらの例を使い始めれば、世界は、支援の手を差し伸べるロータリーの存在を、より明確に認識してくれるでしょう。ぜひ、皆さんのロータリー・モメントを、ロータリアンはもとよりロータリアン以外の人にもご紹介ください。』

9月24日には東京城東クラブに本日の講師をお願いしました渡辺会長に会いに行きました。ロータリーには三大義務があり、その一つが「出席」です。我々はメイクアップを出席補てんと捉えています。会長にそれは違うという指導をいただきました。他クラブに出かけることはそこにいるロータリアンの方々と友好を築き自分の成長の種を捨ってくる。その向上心があってこそそのメイクアップであると。姿勢が大分違うということを学びました。

9月26日静岡大学大学院
修士課程を無事修了しました。
日中関係が厳しい時だからこそ、民間の友好を勧める必要が有ります。
米山学友会に入って、ロータリークラブの精神を伝えて行きたいと思っています。



幹事報告

- ①現在新会員候補者の公示を行っております。ご確認ください。
- ②賀新剛君の米山奨学生の期間が9月末で修了いたしました。
- ③11月に地区大会が開催されます。大勢の参加をお願いします。
- ④『ロータリーの友10月号』を配布いたしました。
- ⑤事務局市川さんの父上がご逝去されました。
- ⑥次回例会はクラブ研修リーダーの担当となります



2012-13

第 457 回例会
10月2日(火)
議事事項



パワー浜松ロータリークラブ事務局
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2
オークラアクティホテル浜松4307号室
Tel/Fax 053-452-0800
Email info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp
創立/2002年10月22日 RI承認/2002年11月27日
認証伝達式/2003年4月29日
スポンサークラブ/浜松中RC



2580地区東京城東ロータリークラブ1805年創業船橋屋会長 渡辺孝至様卓話

小澤パワー浜松ロータリークラブ会長の著書『人と人の中にあるべきもの』にこういふ一節があります。
感謝を忘れない、地域社会への恩返し～(略)～私は人助けというのは続けることに意味があると思っています。自分だけ良ければ良いのではなく、自分が我慢してでも回りに感謝の気持ちを表すということの意味を社員にもきちんと考えてほしい。松川電気がここまで成長してこられたのも、色々な方々に助けて頂いたからです。むしろ自分達が恩返しをしたいために利益を出さず発想があってもいいのではないかと思います。
まさしくロータリークラブとは何ぞやかを体言する言葉であると思います。



さて、私ですが、婿養子として船橋屋に迎え入れられました。自身が社長に襲名する前日に以下の3つの言葉を言い渡されました。

- ・今から後継者の育成を考えなさい。企業とは、継続をして始めて社会的義務を果たせるからである。
- ・自身が会社を作り上げたのではなく、歴代の当主とその時代時代に汗を流してきた社員に感謝し、謙虚に驕らずに仕事に励みなさい。
- ・社員と家族、取引先を蔑ろにしてはならない。殊、取引先には「良くぞ良い仕事をしてくれます」という気持ちを旨に仕事に励みなさい。

その当時、父が私を良く連れて行ってくれる集まりがありました。そこは3代100年以上続く企業の集まりで、京都の老舗と東京の老舗の交流会でした。私はそれらの企業が永続的に経営を続けている秘訣を知りたいと考えるにいたり、それら京都の老舗企業の社長さんや番頭さんに質問をして歩きました。結果、それら企業に共通するのは一環した社是、家訓があるということに気付き、その内容をロータリーの職業奉仕プロジェクトの一環としてまとめたのが本日皆さんにお配りした『京都の老舗』という冊子になります。

では、なぜ我が国には老舗企業が多いのでしょうか。
以下の3つの理由があると思います。

- ・四つの海に囲まれ侵略から縁遠かったから。
- ・企業を存続させたいという価値観があり、時として地縁、血縁を放棄し外部から経営者を招いてでも企業継続をするという意味があるから
- ・モノづくり大国であったから

先に触れた京都の老舗17店舗の社是、家訓には共通したものがあります。それは「確固たる倫理観」であります。

自分だけでは生きていけない、人様に支えられて自分があるのだから、人様に還元すべきである、という価値観です。これはロータリークラブの祖ポール・ハリスが確立した職業倫理観に通ずるものがありますが、実は17世紀～18世紀の日本に既に生まれていたものでした。当時、石田梅岩という心学者がいました。彼は近江商人、伊勢商人が「自分だけ稼げば良い」という状態を見て、「相手(お客様)を喜ばせて初めて永続性があるのだよ」と諭したのです。そして、結果生まれた商業理念が「三方よし」。つまり「売り手よし、買い手よし、世間よし」であります。それをいち早く取り入れ、家訓、社是を作ったのが今も続く京都の老舗達になるわけです。

幾百年も永続し繁栄する
京都の老舗
17店舗に学ぶ
～職業奉仕の実践～



2010～2011年度
国際ロータリー第2580地区
地区職業奉仕委員会

スマイル報告

小澤邦比呂・青山素久:

渡辺孝至様 有難う御座いました。

小澤邦比呂・青山素久:

拡大委員メンバー曾根原今朝敏様有難う御座いました。

渡辺孝至様:

これをご縁によりしくお願い致します。

曾根原今朝敏様:

創立記念例会おめでとうございます。

会場監督:

渡辺孝至様有意義な卓話を有難う御座いました。

高木一浩:

全日本マスターズ陸上大会に参加してきました。

小田木基行:

父の葬儀にお気遣い頂きありがとうございました。